

セミオートオープニング(バリアブルルーフラック用ブラケットセット) 取扱説明書

このたびは、シーエルリンク製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

製品を正しく安全にご使用いただくために、あらかじめ本書をよくお読みのうえ、内容をご理解ください。

商品内容

番号	名 称	略 図	数 量
①	オープニング本体	—	1
②	オープニングプレート		2
③	ブラケットA		2
④	ブラケットB		2
⑤	クランクハンドル		1
⑥	クランクハンドル用ブラケット		2
⑦	フットブラケット		2
⑧	マルチハンガー		5
⑨	ロープ	—	2
⑩	タープ(マウンテンロゴ)	—	1
⑪	S型カラビナ	—	2
⑫	ペグ	—	6
⑬	なべ小ねじ M5x30	—	4

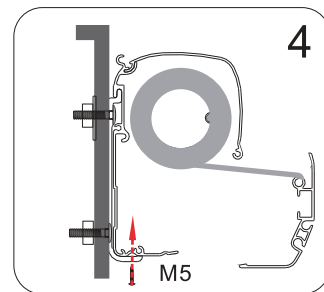
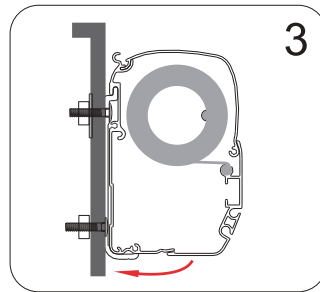
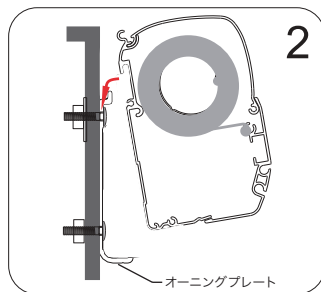
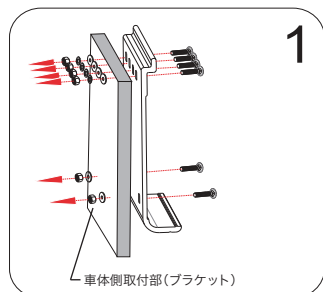
番号	名 称	略 図	数 量
⑭	六角穴付ボルト M5x15	—	4
⑮	六角ロックナット M5	—	8
⑯	六角ボルト M6x20	—	4
⑰	六角ナット M6	—	20
⑱	平ワッシャー M6	—	24
⑲	スプリングワッシャー M6	—	20
⑳	プラスチックワッシャー	—	4
㉑	角根丸頭ボルトM6x25	—	8
㉒	角根丸頭ボルトM6x20	—	4
㉓	極低頭六角穴付きボルト M6x25	—	4
㉔	六角穴付きボルト M8x65	—	4
㉕	極低頭六角穴付きボルト M8x15	—	4
㉖	六角穴付きボルト M8x15	—	2
㉗	平ワッシャー M8	—	10
㉘	スプリングワッシャー M8	—	10
㉙	ハネ付きスクエアナット	—	6
㉚	六角ナット M8	—	4

※取り付け用ボルト類は予備として使用しない場合があります。

取付要領

オープニング本体とオープニングプレートの結合

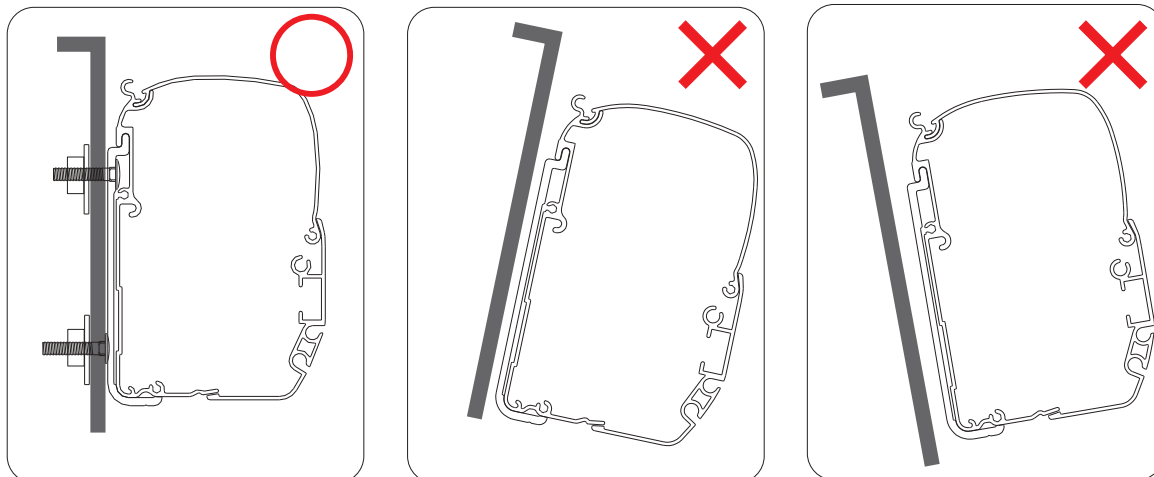
- ①オープニングプレートをブラケットに取り付ける。
- ②プレートにオープニング本体の上部を引っ掛ける。
- ③オープニング本体の下部をブラケットに押し当てる。
- ④オープニング本体に穴あけ加工をしてボルトで固定する。



オーニング本体の取り付け角度

●オーニング本体は必ず車両側面と垂直になるように取り付けを行ってください。

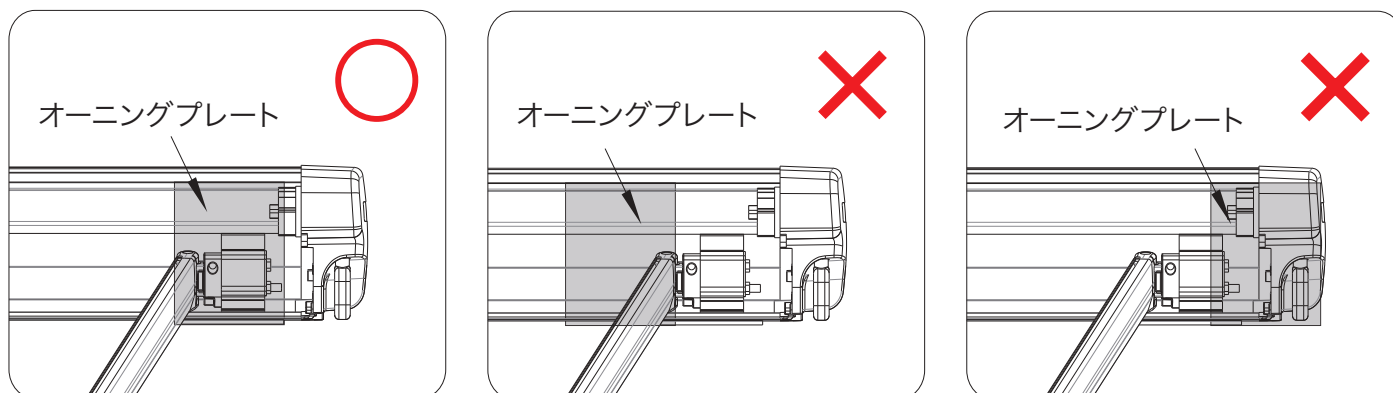
取り付け角度が誤った場合、日除けを出しにくくなったり、アームの故障の原因になります。



オーニングプレートの取り付け位置

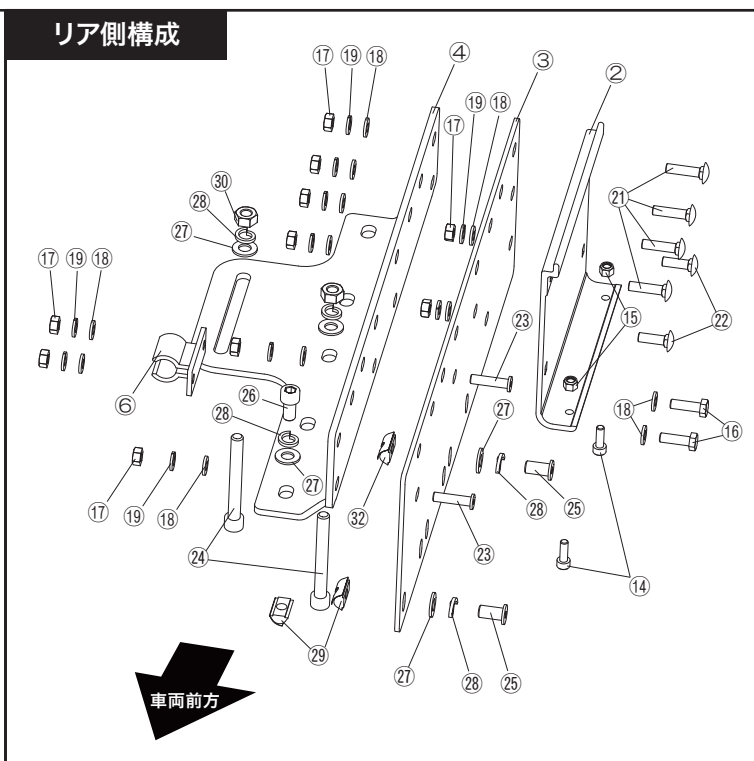
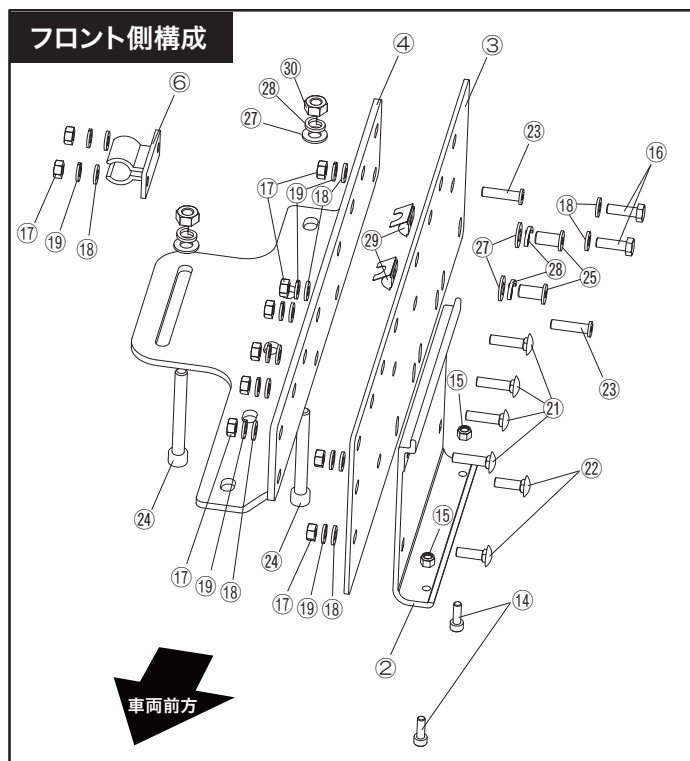
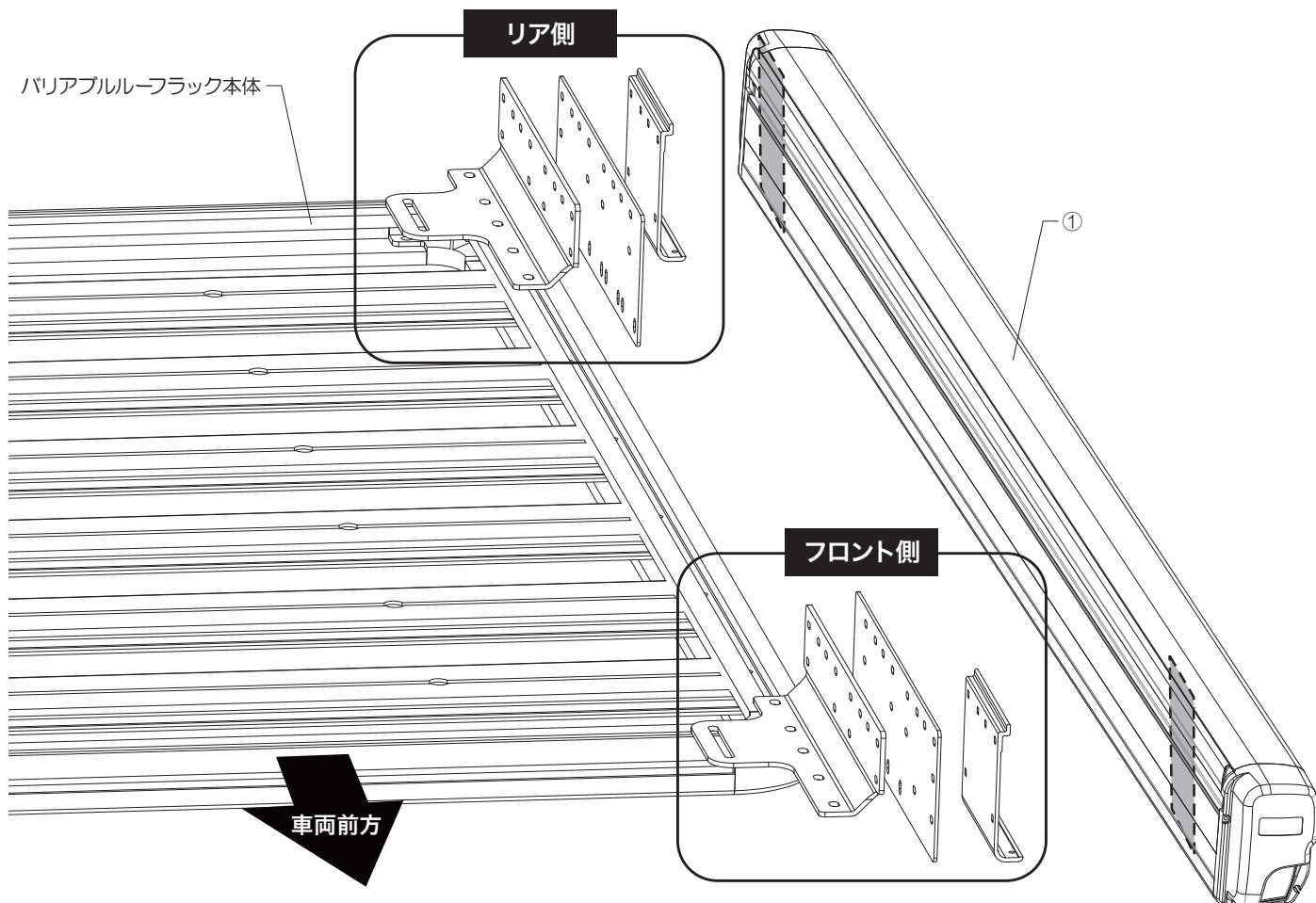
●オーニング本体のアーム結合部全体にオーニングプレートが当たる位置で取り付け場所を決定してください。

適切な位置ではない場合、使用時に本体がねじれたり、早期にアームが破損する場合があります。



シーエルリンク バリアブルラックへの取り付け手順

取り付け構造図



作業を開始する前に

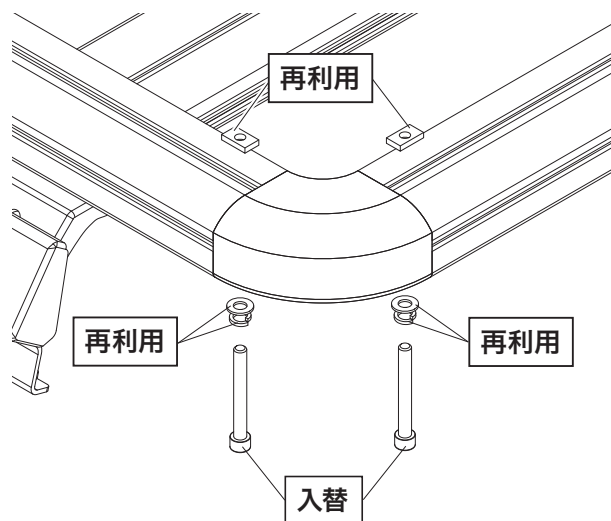
POINT 作業工程で固定ボルトと車体ルーフとの干渉が発生するため、ルーフラック本体を車体から取り外して作業を行ってください。

POINT 作業性の向上のためルーフラックオプションガードを取り外したプレーン状態での作業を推奨いたします。

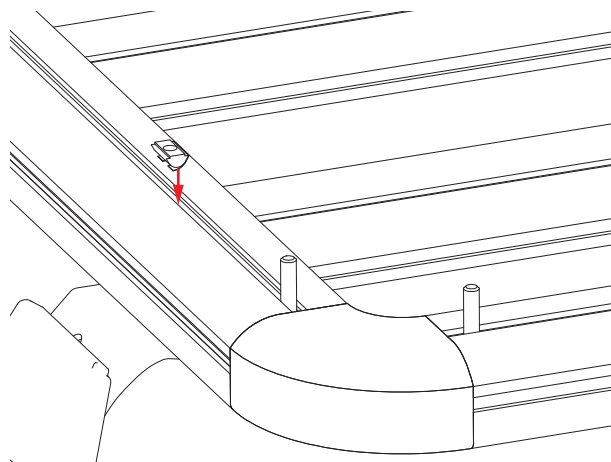
1 バリアブルルーフラック本体へのブラケットBの取り付け

① オーニングを取り付けたい側面のコーナーフレーム2箇所のボルトM8×40を外し、M8×65のボルトと入れ替えます。

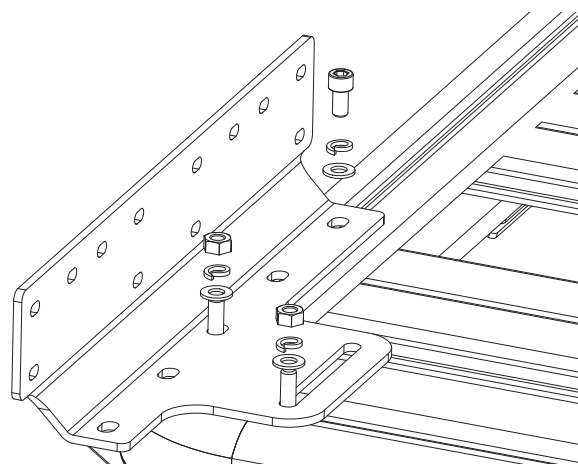
POINT 本体組み立て用スクエアナットとワッシャ、スプリングワッシャは再利用してください。



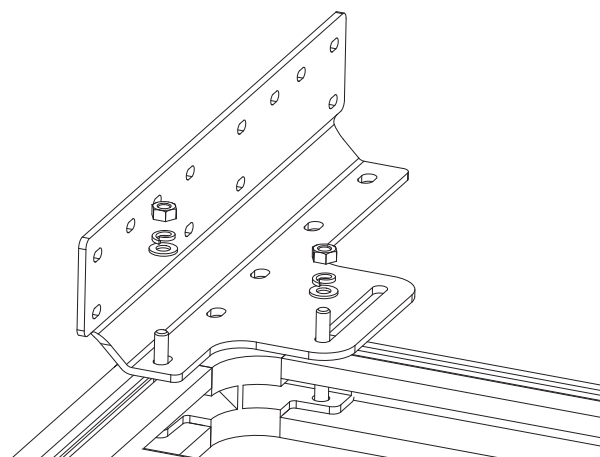
② 後方のブラケットBを固定するためのハネ付きスクエアナットをレール上部にセットします。



③ ルーフラック後方にブラケットBを設置してボルト、ナットを仮締めします。(右図参照)



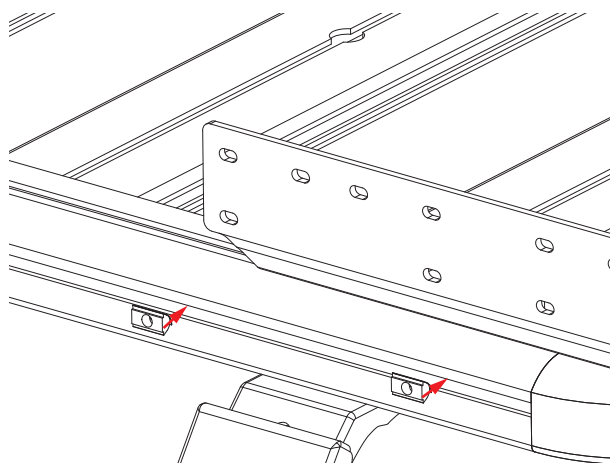
④ルーフラック前方にブラケットBを配置しナットを仮締めします。(右図参照)



2 ブラケットAの取り付け

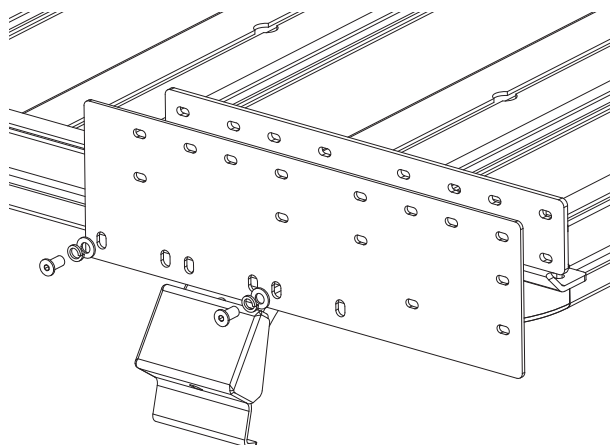
①ハネ付きスクエアナットを側面レールにセットします。

POINT 前後に合計4個のハネ付きスクエアナットをセットしてください。



②前後のブラケットBに極低頭六角穴付きボルトM8×15を使用してブラケットAを仮締めします。(右図参照)

POINT 固定に使用するブラケットAの穴位置はフロントとリアで異なります。出来るだけ広い間隔になるよう任意の位置で固定してください。



リア参考固定位置(フロントは固定位置が異なります)

注意 ボルト固定は右図の丸い穴の部分では行えません。ボルト(ハネ付きスクエアナット)が丸い穴と重ならない位置の穴を使用してください。



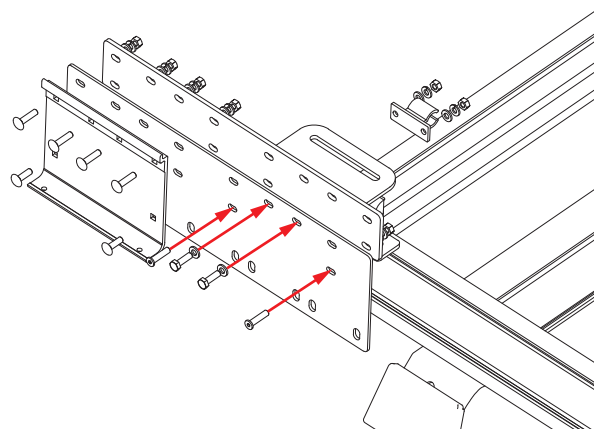
3 オーニングプレートの仮付け、ブラケットの本締め

① オーニングプレートとクランクハンドルホルダーをブラケットAに仮付けします。

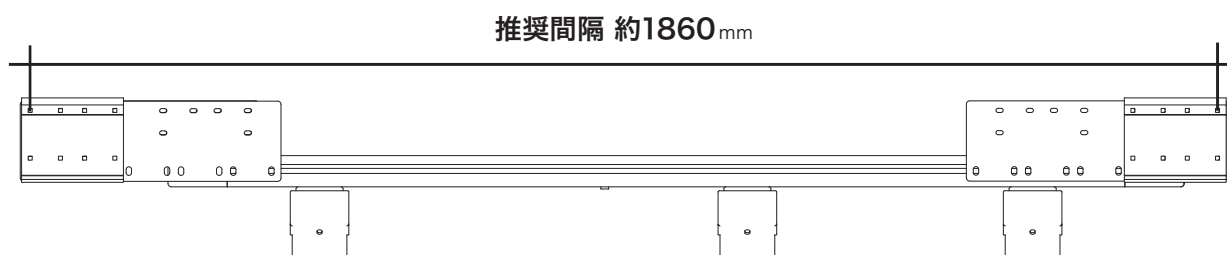
⚠ 注意 オーニングプレートは取り付け構造図を参考に前端側、および後端側に取り付けてください。

⚠ 注意 クランクハンドルホルダーはガードパイプとの併用は不可となります。

② ブラケットAがラック本体と水平になる位置に調整して極低頭M6×25ボルトを本締めします。



③ オーニングプレートの最外ボルト間隔が推奨間隔1860mmになるように調整して、全てのM8ボルトを本締めします。



4 車両にルーフラックを載せる

① ルーフラックを車両に乗せ、固定用ブラケットBを落下を防ぐ程度で仮止めします。

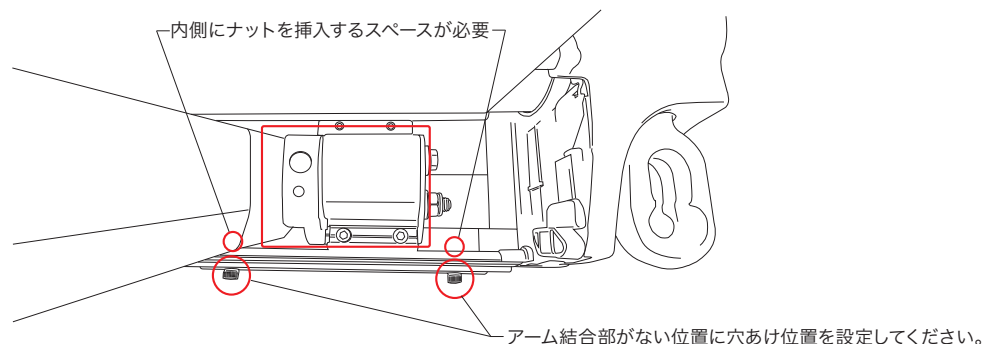
⚠ 注意 車両に乗せる作業は危険ですので2人以上で作業してください。

5 オーニング本体の穴あけ位置を確認する

① オーニング本体をオーニングプレートの上側に引っ掛け、下側をプレートに押し当てて車両に装着します。

② オーニングプレート下部にある2つの穴からオーニング本体に合計4ヶ所の穴位置をマーキングします。

⚠ 注意 穴位置のオーニング内側はボルトが突起して、ナットで締め付ける必要があります。マーキング位置がアーム結合部と干渉していないこと、作業のしやすい位置であることを必ず確認してください。仮に穴位置が適切でない場合は再度プレート間隔の調整をおこなってください。穴位置を誤った場合は取り付けができず、再度穴あけ加工が必要になります。



③ オーニング本体を車体から下ろしてオーニングプレートとブラケットAの固定用ボルトとクランクハンドルホルダーのM6ボルトを本締めします。

6 オーニング本体に穴あけ加工をする

①「5」でマーキングした位置にドリルで5.5mmの穴をあけます。

⚠ 注意 穴をあける際は必ず日除けを出した状態で行ってください。格納したまま作業をするとドリルによりフット等を破損させる恐れがあります。

👉 POINT 穴あけ位置の形状に丸みがあるため、センタポンチ等を利用して確実に穴あけをおこなってください。

7 オーニング本体を装着する

①オーニング本体をオーニングプレートの上側に引っ掛け、下側をプレートに押し当てて車両に装着します。

②6であけた穴とオーニングプレート下部の穴、4ヶ所を付属の「六角穴付きボルトM5x15」と「六角ロックナットM5」を使用して固定します。

③ブラケットAとオーニングプレートを固定する角根丸頭ボルトを本締めします。

8 ルーフラックのフットを固定する

①ルーフラックと車両を固定する固定ブラケットBを本締めします。

👉 POINT 車両とオーニングの位置関係を好みの前後位置(ルーフラック全体)に調整して固定してください。

9 最終チェック

①各箇所のボルトの緩み、オーニング本体の固定不良が無いことを確認して作業終了です。

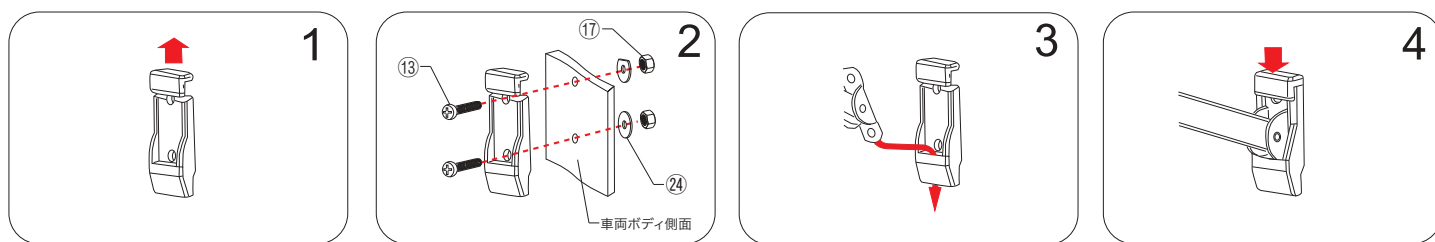
<メモ欄>

その他付属部品の取り付け、使用方法

フットブラケット

オーニング使用時に、フットを車両の側面に引っ掛けて固定できるアクセサリです。足場が悪い場合や、フットを展開するスペースが確保できない場合に使用します。

- ①フットブラケットの上部を引っ張り、ボルト装着部分を表に出します。
- ②任意の位置に5.5mmの穴あけをしてフットブラケットを取り付けます。この際にプラスチックワッシャーを裏側のスペーサーとして使用します。上側は一部切り欠きがあるタイプを使用します。
- ③オーニングのフットをブラケットに挿入します。
- ④上部を下に押し付け、ボルトを隠します。



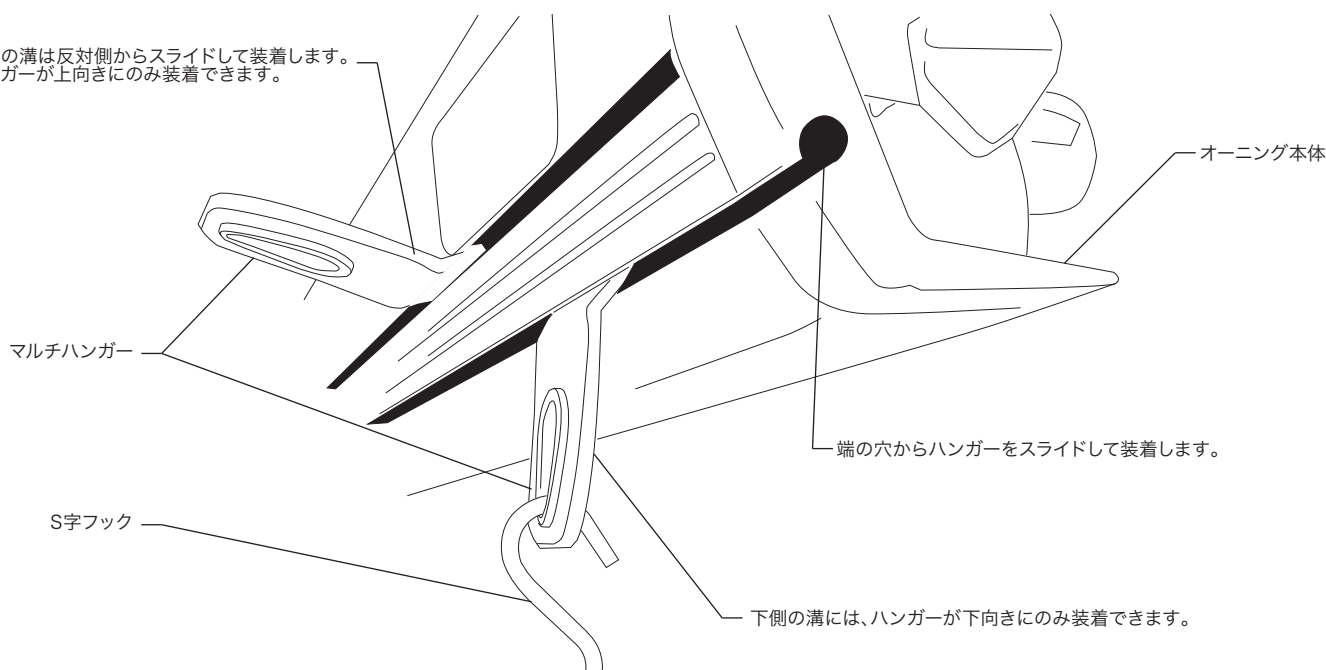
⚠ 注意 フットブラケットの装着は車両のボディに穴あけ加工が必要になります。

マルチハンガー

タープを追加してスペースを拡張したり、ランタンを吊り下げるなど、アイデア次第でさまざまな用途に活用できるハンガーです。

- ①オーニング本体前面の溝にスライドしてハンガーを取り付けます。
- ②ハンガーにS字フックを取り付けます。

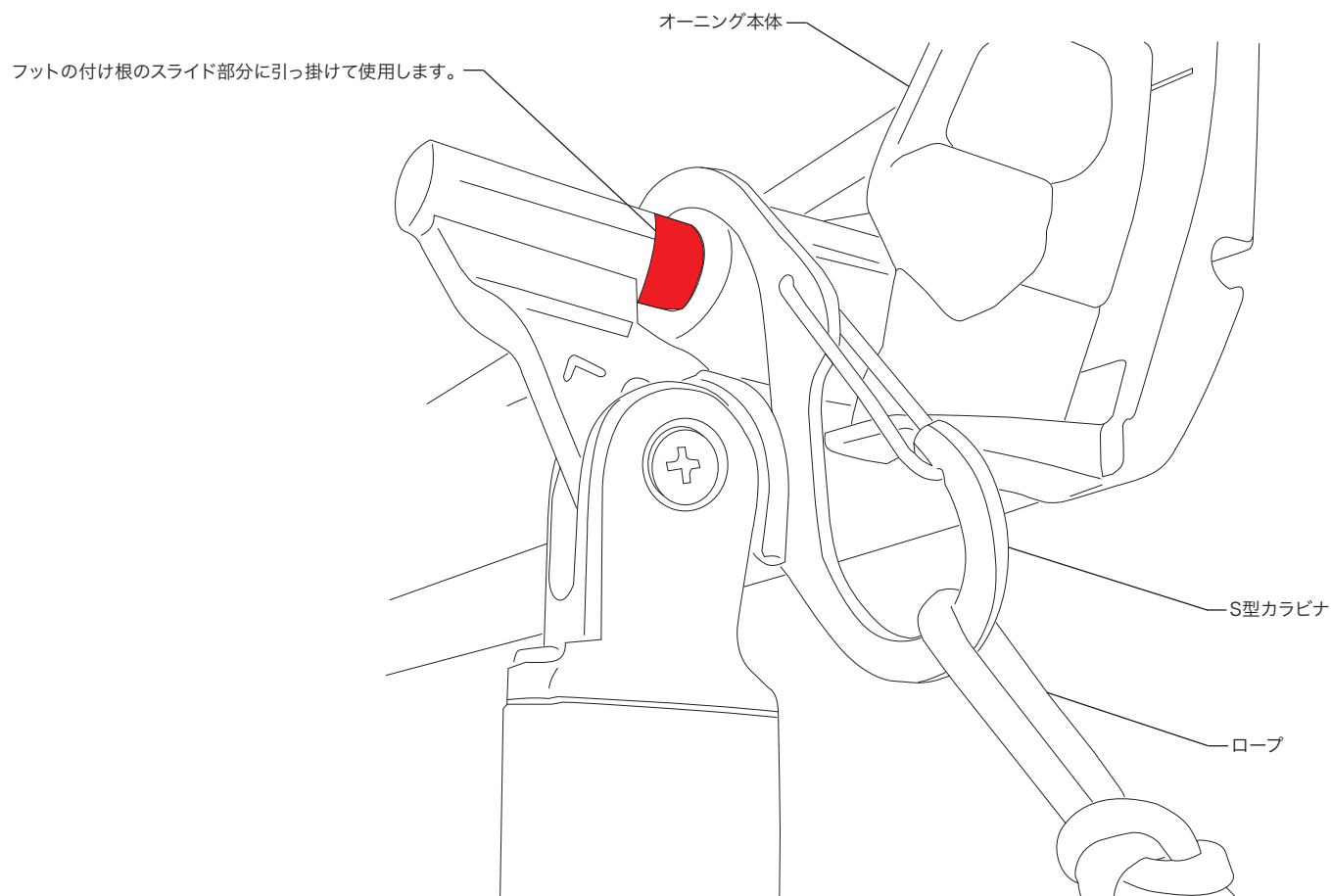
上側の溝は反対側からスライドして装着します。
ハンガーが上向きにのみ装着できます。



下側の溝には、ハンガーが下向きにのみ装着できます。

ロープでアンカーを取る際に、オーニング本体とロープを繋げる時に役立ちます。

- ①オーニングフットの付け根の部分に引っ掛けます。
- ②反対側にロープを通して、ロープを地面に固定します。



⚠ 注意

- 製品の取り付けは2人以上で作業を行ってください。
- クランクハンドルホルダーはガードパイプとの併用はできません。ガードパイプをご使用の場合は車内等にてクランクハンドルを保管してください。
- オーニング使用時はペグとロープを利用して、必ず地面に固定して使用してください。
- 日除けを格納する前に濡れてないことを確認してください。やむを得ず濡れた状態で格納する場合は、できるだけ早く日除けを出してしっかり乾燥させてください。濡れたまま放置するとカビなどの汚れや劣化のトラブルが発生する可能性があります。
- 使用中に雨が降った時はフットの高さを調整して日除けの左右の高さに差をつけて排水をおこなってください。日除けに水が溜まると破れなど破損の原因になります。
- 製品を装着したまま洗車機を使用しないでください。
- 製品の取付後、定期的な増し締め作業を行ってください。
- 強風時など使用に危険を感じた場合は直ちに使用を中止してください。
- 日除けの交換等を含め製品の修理用補修部品はご案内いたしておりません。あらかじめご了承ください。

C.L.LINK